

「第4次下関市子どもの読書活動推進計画（案）」に係るパブリックコメントの実施結果

- A: 意見を踏まえて計画を補足修正、または追加した
 B: 軽微な文言修正を行った
 C: 計画の補足修正、追加を行わなかった
 D: 計画策定等に当たって考慮すべき事柄として参考とした
 E: パブリックコメントの対象外の意見として扱った
 F: 公表しない意見

1. 実施期間：令和6年9月10日（火）～令和6年10月9日（水）

2. 意見応募状況：応募者数：4名 意見件数：9件

3. 意見の要旨と市の考え方

番号	ページ	項目等	意見要旨	意見に対する市の考え方	反映結果
1	1	第1章 1	読書をする事のメリットを記載してほしい。読書をする事で、こんな良い事がある、又、将来この様な形で役に立つなど。なぜなら、デジタル機器の活用が未就学児のころからあたりまえになっており、活字に触れることが少なくなっている子どもたちからすれば、本を読むという事自体が苦しみでしかなくなっているのではないかと心配しているからである。	読書をする事のメリットを子どもたちに伝えていくことは、読書が好きな子どもの育成に効果的であると考えます。読書の重要性を子どもも大人も共有できるようにしていきます。 ご意見の趣旨を踏まえ、文言を追記いたしました。	A
2	11	第2章 2(2)	論理的でない分析 「③各学校図書館で、様々な展示の工夫を行っています。その結果、読書が好きな子どもの育成に成果を上げています。」とあるが、それは因果関係を証明できない。「その結果」というのは恣意的な解釈である。そう言うのであれば、なぜ、中学校において「1か月に1冊も本を読まない中学校2年生78%」となるかの原因をもっと真剣に考えて対策を盛り込むべきである。	各学校図書館では、季節や行事に合わせた本の紹介コーナーや人気がある本のランキング、読書量の多い子どもの紹介等、様々な展示の工夫を行っており、子どもたちが本に親しめる環境を整えています。 ご指摘の中学生の状況に関する78%という割合は、「学校図書館を利用しない生徒の割合」であり、読書をしている生徒は一定の割合でいます。朝読書等で読書をする場合の図書は、自宅から持参する機会が多いことから、このような結果が出ているものと考えられます。ただし、ご指摘のように展示の工夫とその成果の関係性については明確ではないため、表現を修正いたしました。	B
3	17	第2章 4	データの信憑性 1ヶ月に1冊以上本を読む中学生2年生85%となっているが実態とかけ離れていないか。体感としてはよくても50%だと思いが、「本」に教科書やワークを含めて答えていないか。信憑性を増すためにも、本のタイトルまで含めて記入させる、あるいは、教科書・マンガ以外での注釈を付すべきである。この1年で読んだ本のタイトルを挙げてもらい、それを集計して数値目標にすべきである。	アンケートにおいては(マンガをのぞく)としていますが、その他のジャンルにまで言及はしていませんので、今後アンケートを実施する際には、より詳細のデータ分析が可能となるように質問内容を検討いたします。	D

番号	ページ	項目等	意見要旨	意見に対する市の考え方	反映結果
4	23	第4章 2(2)	学校における取組 具体性が足りない。朝読15分など、必ず読書する時間を作るべきである。また、朝読の時間を「試験勉強」「山口っこプリント」「学力調査対策」にすることを禁止するべきである。それは読書よりもテストが重要という間違っただけのメッセージを発することを意味する。	朝読書等の活動については、「1 本との身近な出会いを(環境の整備)」の「(2)学校における取組」の中で記載しているところ。重複表現をさけるためご指摘箇所には記載していませんが、学校においては読書の重要性を伝えることとしています。なお、学校の実情に応じて読書に取り組む時間を確保しているところ。C	
5			選ばれる街になるための読書 本を読む大人が増えなければ、社会全体の学習力は低下する。それが、地域の学力差、経済格差、文化格差となって、再生産される。	読書の意義、重要性については、子どもだけでなく大人にも十分理解できるよう、図書館、学校等においてイベント等を通じて働きかけを行っていきます。C	
6			読書力で学力は決まる 教育行政に携わる方は、まず、「教科書を読めない大学生 vs AI」(新井紀子)をご一読ください。中高一貫以前に、デジタルで基礎学力が破壊されている。	読書の意義、重要性については、子どもだけでなく大人にも十分理解できるよう、図書館、学校等においてイベント等を通じて働きかけを行っていきます。C	
7			公共交通機関での読書奨励 バス通学の学生が車内でスマホを使用することで頭脳と時間を無駄にしている。バス車内でのスマホ利用を禁止して、読書を奨励してほしい。	読書の意義、重要性については、子どもだけでなく大人にも十分理解できるよう、図書館、学校等においてイベント等を通じて働きかけを行っていきます。C	
8			小学校に通う子どもがいる。読書が大好きだが学校の図書室にクーラーがないため、暑すぎるのが心配である。本に夢中になって気が付かないうちに熱中症になってしまうのではと思う。クーラーを付けるという話は数年前から聞いているが、実現はいつだろうか。	学校の特別教室の空調機器を段階的に整備することとしており、小学校の学校図書室は令和8年の夏までに整備予定となっております。D	
9			興味のある本もある。障害者もみる本があるのはよい。	住所等の記載がないため、市の考え方を付する対象でない意見として扱います。E	